

3年	単元名	表とぼうグラフ
算数		

### 1. 単元の目標

身のまわりの事象について、表や棒グラフを用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する素地を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### 2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館にあるデータ活用の学習に関する資料を参考図書として扱うことで、データの分類・整理の仕方を視覚的に捉えることができた。また、統計的問題解決の手順（「PPDAC」）を学び、見通しをもって学習に取り組めた。

### 3. 授業での活用場面（1／10）

学習活動	学校図書館の関わり
1 栄養教諭の先生からのお願いの手紙を読む （どんなデザートがよいか、算数の学習を使って調べたり、まとめたりしてリクエストしてほしい）  2 めあての確認	・算数の教科書から使えるような学習を考える ・
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         福原先生のお願い（デザートのリクエスト）に答えるために調べ方や整理の仕方（グラフ）を考えよう                     </div>	
3 教科書や資料からこれからの学習のイメージをもつ  4 これからの学習の流れについて整理する PPDACについて学ぶ	・データ活用に関する資料のコピーを配付する ・司書教諭が資料の扱いについて説明

### 4. 考察（成果や課題等）

教科書と学校図書館資料を併用して学習で扱うことで、子どもたちが大事なポイント（正の字の使い方や棒グラフの書き方）などを自分たちから見つけ、学んだことを進んで使おうとする姿が見られた。学校図書館資料はイラストや文字が大きく、算数が苦手な児童にとっても理解しやすかった。